

## 第19回福井県支部学術集会

学術集会会長：福井循環器病院病院長 大里和雄

2020年  
2月22日  
(土)、福井  
循環器病院  
榊原記念  
ホールにて  
「多職種で  
実現する働  
き方改革」  
というテー



会場風景

マで、第19回福井県支部学術集会を開催しました。

一般演題は看護師、薬剤師、臨床工学技士の多職種で4題が発表されました。

特別講演では“医師事務作業補助者へのタスクシフトとチーム医療”について、医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院診療支援部長 NPO法人日本医師事務作業補助研究会理事長 矢口智子先生にご講演をいただきました。医師の負担軽減や医師の労働時間短縮という効果だけではなく、医師と多職種間の業務の分担や連携に関わることによって結果的にチーム医療の推進も図られているという内容でした。その後のシンポジウムにも参加していただき、活発に意見交換がなされました。

当日は新型コロナウイルスの影響はなく84名の方々に参加いただき、盛況のもと終了することができました。本学術集会開催にあたり、ご協力を賜りました関係各位に深く感謝申し上げます。

## 第24回岡山県支部学術集会

学術集会会長：岡山労災病院院長 三好 新一郎

2020年2月22日(土)に岡山労災看護専門学校において、第24回岡山県支部学術集会を開催いたしました。「医療従事者の働き方改革」をメインテーマに、125名のご参加をいただきました。

特別講演では、厚生労働省労働基準局労働条件政策課医療労働企画官及び医政局医療経営支援課医療勤務環境改善推進室長の安里 賀奈子先生により、「医療を未来へつなぐために、医師の働き方改革—No Change, No Future—」と題して講演をいただき、その後のシンポジウムでは、「医療従事者の働き方改革の現状と課題」と題して活発な発表と討議が行われました。ランチョンセミナーでは、山形大学医学部附属病院検査部長・感染制御部長 森兼啓太先生より「医療関連感染の諸問題とより効率的な制御を目指して」をテーマに

ご講演いただきました。その他、一般演題7題、要望演題5題、クリティカルパス展示2題の発表がございました。

本学術集会開催にあたり、多くのご支援、ご協力をいただきました皆様に心より感謝申し上げます。

## 第13回宮崎県支部学術集会

学術集会会長：潤和会記念病院病院長 岩村威志

2020年2月22日(土)に、宮崎リハビリテーション学院を会場とした開催予定で準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染流行に伴い、直前に会場での集会を取りやめ、WEB開催へと変更し開催致しました。事前参加登録にて140名のエントリーがあり、一般口演40演題、ポスター口演9演題のご応募をいただきました。また、特別講演として特定社会保険労務士の福島通子先生より「安全・安心な医療と「働き方改革」の両立を目指して」と題した演題をご寄稿いただきました。WEB開催は、3月1日～3月31日の1か月間、発表データをPDF化したものを参加登録者のみが閲覧できる形式にてWEB上で公開し、発表演題に対する質疑は学術集会事務局でとりまとめ、3月25日～3月31日の期間にWEB公開致しました。会場での学術集会と同様に活発な議論を期待しWEB上で質問を受け付けた結果、質問数は12件と件数自体は低調でしたが、じっくりと内容を読み込んだ上での内容の濃い質問が多く見られたことは、一つの収穫でした。

## 第22回熊本支部学術集会

学術集会会長：くまもと森都総合病院理事長 藤山重俊

第22回熊本支部学術集会を2020年3月7日(土)に熊本城ホールにて開催予定としておりましたが、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の日本国内での感染拡大を受け、誠に残念ながら当日開催を中止いたしました。開催の是非については実行委員会を中心に、学会本部および支部役員と直前まで検討を続けておりましたが、2月25日に中止の判断といたしました。なお、発表を予定しておりました特別講演2題、シンポジウム1題と一般演題95題は、抄録集の発行をもって誌上発表とさせていただくとともに、Web公開を行いました。

当日開催はかないませんでした。開催準備にあたり多くの関係者の皆様にご支援とご協力を賜りました。心より御礼申し上げます。